居場所の役割を考える

第27回**TSUMUGU”BITO”Prpject**

2017/03/10

「居場所」を・・・
社会参加の一歩、社会とのつながりを目的とした場
当事者・家族の会→カフェ・サロン
緩やかな関係性を求めて様々な形態に

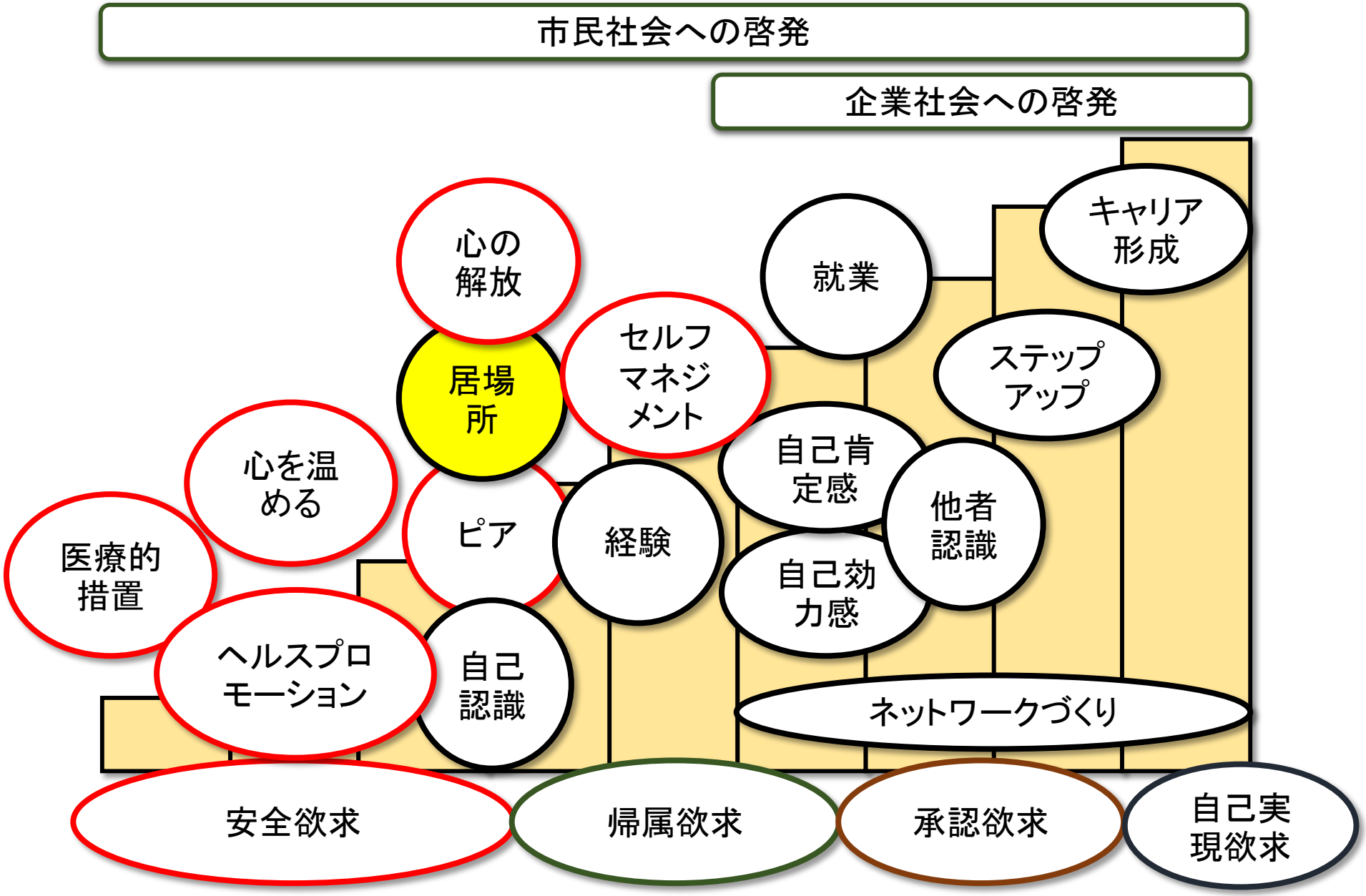
これまでは・・・
- 当事者間での共感・情報交換の場

これからは・・・
- 非当事者への情報発信の拠点
- ジョブマッチングの拠点
- 地域における新たな資源発掘の足場

さまざまな役割を持って機能し始めている

社会参加につながるような役割の再定義・新規定義

居場所の役割を考える


市民社会への啓発
企業社会への啓発
心の解放
居場所
セルフマネジメント
就業
キャリア形成
ステップアップ
心を温める
医療的措置
ピア
経験
自己肯定感
他者認識
自己効力感
ヘルスプロモーション
自己認識
ネットワークづくり
安全欲求
帰属欲求
承認欲求
自己実現欲求

「居場所」を拠点に再び社会参加できたら・・・

就労や社会参加の後押しと、継続のサポート

ときに休むために気楽に戻れる・立ち寄れる場

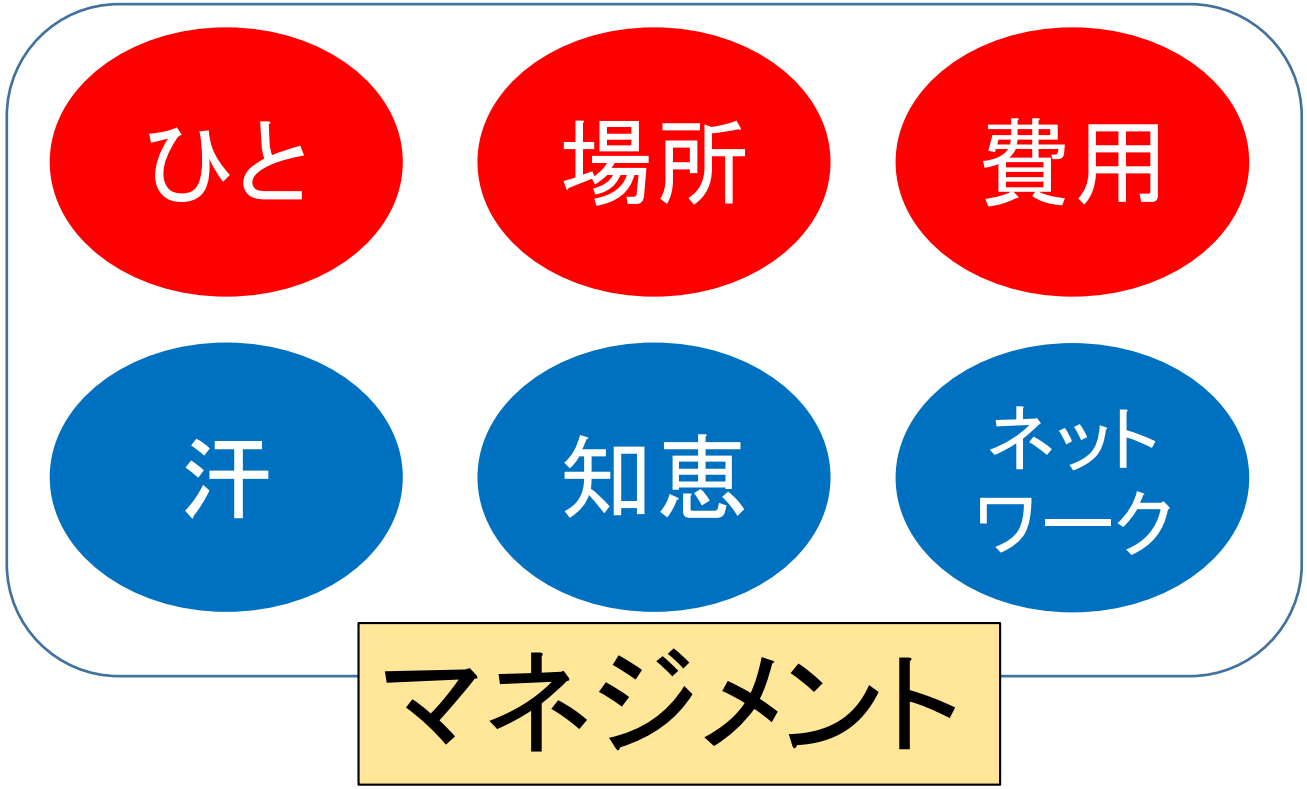
「居場所」が地域に根付いたら・・・

基礎自治体における互助的な人間関係の再統合

地域に眠るニーズの新規発見

回を重ねていくと・・・・

- 参加者の固定化、内容のマンネリ、運営の負担、人材、場所や費用不足



本日の論点

- 社会参加につながるような役割の再定義・新規定義
- 「就労を目的にした適職のマッチング機能」を実行するために必要な人的資源
- 共同性のみならず機能性を武器にしたカフェの構築・運営の可能性
- 専門職の関わり方や連携すべき組織
- キャリア（知識、経験、能力、ネットワーク）が身に着く場にするための工夫
- 持続可能な居場所づくりのためのリソースの確保